

記録書 No.2

(2018 年 04 月 2 日 ~ 2018 年 4 月 20 日)

2018 年 4 月 23 日
乃村研究室 B4
吉田 修太郎

0. 前回ミーティングからの指導・指摘・学んだ事項

- (1) 誰かの話を聞くときは、後で質問やコメントができるようにする。
[4/4, 104 号室, 乃村先生]

1. 実績

1.1 研究関連

(1) 2018 年度 B4 新人研修課題に関する項目

- | | |
|--|------------------|
| (A) Debian のインストール | (100 % , +100 %) |
| (B) Linux カーネルの再構築 | (100 % , +100 %) |
| (C) システムコール実装の手順書作成 | (80 % , +80 %) |
| (D) Ruby による SlackBot プログラムの作成 | (15 % , +15 %) |
| (E) Ruby による SlackBot プログラムの報告書, 仕様書作成 | (0 % , +0 %) |

1.2 研究室関連

- | | |
|-------------------------------|--------|
| (1) 平成 30 年度新 B4 ガイダンス | (4/2) |
| (2) 平成 30 年度新 B4 歓迎会 | (4/2) |
| (3) 第 349 回 New 打ち合わせ | (4/3) |
| (4) 平成 30 年度新 B4 向け Web 勉強会 | (4/3) |
| (5) 平成 30 年度新 B4 向け rbenv 勉強会 | (4/3) |
| (6) 平成 30 年度新 B4 向け Git 勉強会 | (4/4) |
| (7) 乃村研お花見 | (4/4) |
| (8) 第 350 回 New 打ち合わせ | (4/18) |
| (9) 乃村研ミーティング | (4/19) |

1.3 大学関連

- | | |
|-------------|----------------------|
| (1) 非手続き型言語 | (4/9 , 10 , 16 , 17) |
|-------------|----------------------|

2. 詳細および反省・感想

2.1 研究関連

- (1D) 現在，Ruby による SlackBot プログラムの作成に取り組んでいる．SlackBot とは，Slack というチャットツールで利用できる Bot のことである．また，今回はフレームワークとして Sinatra を用いる．Sinatra とは，Ruby で作成されたオープンソースの web アプリケーションフレームワークである．Ruby を用いてのコーディングは今回が初めてであり，Sinatra を利用することもまた初めてであるため，それぞれの仕様をよく調べながらコーディングを進める．

2.2 研究室関連

- (6) 本勉強会では，Git の概要，その仕組み，および使い方について学んだ．これまでほとんど Git を利用することがなかったが，これを機に積極的に Git を利用し，Git を十分に使いこなせるようになる．まずは，これまでクラウド上に最新のファイルのみをアップロードして管理していた文書について，今後はその管理を Git によって行う．

3. 今後の予定

3.1 研究関連

- (1) Ruby による SlackBot プログラムの作成 (4/27)
(2) Ruby による SlackBot プログラムの報告書，仕様書作成 (4/27)

3.2 研究室関連

- (1) 全体ミーティング (4/23)
(2) 第 351 回 New 打ち合わせ (4/27)
(3) 乃村研ミーティング (5/14)

3.3 大学関連

- (1) 非手続き型言語 (4/23, 24 , 5/1 , 7 , 14 , 15)

3.4 その他

- (1) Patchwork Okayama -2018 (5/11)